

## メキシコでのガス開発事業の落札について

平成 15 年 10 月 24 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（本社 東京都渋谷区、社長 磯野 啓）はメキシコでのガス開発に関する公開入札に参加し、現地時間 10 月 23 日に Cuervito（クエルビト）鉱区におけるガス開発サービス事業の落札に 成功し、日本企業としては初めて同国における石油・天然ガス開発事業へ進出することとなりました。

メキシコでは石油・ガスの探鉱・開発事業は PEMEX（メキシコ国営石油会社）のみによって行われていますが、今般、天然ガス生産量の増大を図るべく国際入札が行われることとなりました。本入札は、天然ガスの開発に関するサービス契約(Multiple Service Contract、MSC) の形態をとり、メキシコ北東部に位置するブルゴス地域の 7 鉱区を対象として PEMEX より公示されたものです。

当社は、中南米を重点地域のひとつとして海外事業を展開しており、かねてより同国の原油・ガスポテンシャルの高さに注目していたことから、Petrobras 社（ブラジル）、D&S 社（メキシコ）と共同で本公開入札に参加いたしました。なお、参加比率は Petrobras 社 45%、当社 40%、D&S 社 15%であります。

今回落札した Cuervito 鉱区は面積 231km<sup>2</sup> で、鉱区内には 6 ガス田が既に発見されており、そのなかで Cuervito 及び Pamorana（パモラナ）が主力のガス田となっています。締結する契約においては 15 年間で 2 億 6 千万ドルまでの投資枠のなかで、本鉱区の再開発を行う予定であります。

共同入札者である Petrobras 社は世界でも有数の規模を誇るブラジルの石油会社であり、D&S 社は 30 年以上の歴史を持つメキシコのエネルギー部門のサービス企業です。

以上

# クエルビト鉱区位置図

